

平成28年度

公益社団法人米沢有為会表彰受賞者

表彰式：平成28年6月25日（土）午後3時30分

伝国の杜 大会議室

平成28年度公益社団法人米沢有為会表彰者事績紹介

《教育功労者》川西町立玉庭小学校学校支援地域本部 様

玉庭小学校では、平成20年度に文部科学省より委託され「学校支援地域本部事業」の取り組みを開始、専門的知識・技術を持つ地域住民の「伝えたい」、「教えたい」というニーズと、学校側の「専門的な学習の場を設けたい」というニーズをマッチングさせた「学習支援活動」が特徴である。

これまで、地域内外の退職教員5名が、通年で国語・算数の指導や音楽の授業を行い、そして様々な体験の場として米作り、里芋、ネギなどの畑作の食農活動、花（ダリア）の栽培、和太鼓の授業に力を入れている。

さらに、図書ボランティアによる図書の修復、読み聞かせ、民話の語りを行っている。また、プール清掃やワックスがけなどの環境整備や「玉庭あんしん隊」による年間を通じた交通事故や不審者から子どもたちを守る活動も行っている。

《産業功労者》^{くわばら} 栗原 ^{あきら} 晃 氏 株式会社ニューテックシンセイ代表取締役社長

「MOKULOCK」(もくロック)は、電子機器組み立てメーカーの副業として生まれ、子供がなめても大丈夫なブロックのおもちゃである。

地元の自然を生かす道に目を向け、カエデやケヤキなど間伐材や家具等に使用するには不向きが使われない県産材が手に入ることがわかり、2009年に開発部隊を立ち上げて2年間の試行錯誤の結果、2011年に商品化にこぎつける。

京都高島屋は2014年クリスマスからもくロックを扱い、本物志向の人に支持を集めている。また、2015年1月パリ郊外で開かれた欧州最大級のインテリアや雑貨の見本市「メゾン・エ・オブジェ」にもくロックを出展、環境に配慮し、持続可能な商品をつくる企業に贈られる「グリーン・アイテナリー賞」を日本企業で唯一受賞した。

《産業功労者》株式会社 我妻組 様

日本には昔から建物を解体せずに移転させる「曳家」という技がある。その伝統技法を受け継ぎながら独自に開発した技術を加えて発展させ、この度、弘前城の修復にあたり、400tもある天守閣を仮設土台まで79mも移動させた。

この特殊技術は、日本で誇るべき技であり、東北に我妻組しかないと言われており、弘前城を無事移動させた功績は非常に大きなものがあり、米沢の産業界の誇りである。先人が培ってきた技を次の世代へと継承していく職人氣質にあふれている。

《特別顕彰者》^{あおき}青木^{あやの}彩乃さん 川西町立川西中学校3年（ホッケー）

平成27年度U-16 ジュニアユースホッケー日本代表に選出され、オーストラリアでの国際交流世界大会にゴールキーパー、副キャプテンとして出場し準優勝に貢献した。

《特別顕彰者》^{いざわ}飯澤^{じょう}丈さん 川西町立川西中学校3年（ホッケー）

平成27年度U-16 ジュニアユースホッケー日本代表に選出され、オーストラリアでの国際交流世界大会にフォワードとして出場し第7位入賞に貢献した。

《特別顕彰者》山形県立米沢興譲館高等学校2年男子チーム 様

第5回科学の甲子園全国大会に出場し、実技競技①（生物）の部で第1位のトヨタ賞を受賞した。